

流通とS C・私の視点

2014年3月17日

視点(1799)

金融経済と株式時価総額について!!

(流通経済編)

日本経済新聞社調べ(2014年3月17日朝刊)によると、世界の株式時価総額は2013年末時点で次の通りになっています。

	取引所	時価総額	企業数	備考欄
1位	ニューヨーク	17兆9,498億ドル	2,371社	
2位	ナスダック	6兆0,849億ドル	2,637社	
3位	東京	4兆5,431億ドル	3,419社	
4位	ロンドン	4兆4,289億ドル	2,736社	イタリア取引所含む
5位	ユーロネクスト(欧州4ヶ国)	3兆5,838億ドル	1,062社	
6位	香港	3兆1,007億ドル	1,643社	
7位	上海	2兆4,969億ドル	953社	
8位	トロント	2兆1,138億ドル	3,886社	
9位	ドイツ	1兆9,361億ドル	720社	
10位	スイス	1兆5,406億ドル	272社	
11位	深圳	1兆4,521億ドル	1,536社	
12位	オーストラリア	1兆3,659億ドル	2,055社	
13位	OMX北欧	1兆2,692億ドル	755社	
14位	韓国	1兆2,345億ドル	1,813社	
15位	インド・ボンベイ	1兆1,388億ドル	5,294社	
16位	スペイン	1兆1,165億ドル	3,245社	
17位	ブラジル・ボベスバ	1兆0,204億ドル	363社	
18位	ヨハネスブルグ	9,428億ドル	375社	
19位	台湾	8,227億ドル	866社	
20位	モスクワ	7,706億ドル	262社	
合計		58兆9,121億ドル	36,213社	
アメリカ		24兆0,347億ドル	5,008社	ニューヨーク+ナスダック
中国		7兆0,497億ドル	4,132社	香港+上海+深圳
日本		4兆5,431億ドル	3,419社	東京

全世界の株式時価総額は20位までで58兆9,121億ドルですが、その他を含めて60兆ドル(6,000兆円、ほぼ世界のGDPに相当)が想定されます。株式の時価総額とGDPを比較すると、

- ①アメリカはGDP約1,500兆円に対し、株式時価総額は2,403兆円と1.6倍です。
- ②中国はGDP約900兆円に対し、株式時価総額は705兆円と0.8倍です。
- ③日本はGDP約500兆円に対し、株式時価総額は454兆円と0.9倍です。

日本と中国の一般的経済国家等は株式時価総額はGDPより下ですが、**アメリカの株式時価総額はGDPの1.6倍**です。日本や中国等の一般的経済国家は、産業資本経済の延長線の経済国家ですが、アメリカはまさに「**金融資本経済国家**」です。アメリカはドルが国際決済の基軸通貨であり、かつ1971年からドルに対する金本位制を廃止し、自由にドルを発行し、モノづくりの産業資本経済ではなく金融を基軸とする金融資本国家になっています。1971年以来43年間の間に、1991年からのICTバブルと2000年のICTバブルの崩壊、2001年からの住宅バブルと2008年の住宅バブルの崩壊が起こり、金融とICT、金融と住宅・不動産が融合した金融経済によってアメリカ経済は成長していきました。その結果、アメリカはGDPの1.6倍の株式時価総額、世界の株式時価総額の40%(2,400兆円÷6,000兆円)を占めるようになりました(事実、1990年のニューヨークダウ平均は10万円でしたが、2014年は150万円と15倍になっています。この間の日本は日経ダウ平均は4万円から1.5万円に下落しています)。過去40年間は、アメリカは双子の赤字(財政赤字、国際経常赤字)でしたが、大量のドルの発行と金融経済とデリバティブ(金融派生商品)の国内のみならず世界的運用により、**資産効果現象と消費マインドの向上と金融経済から派生する増分所得とローンの先買い消費増**により経済を発展させてきました。しかし、アメリカは2014年から徐々に脱金融資本の方向に向かいつつあり、**2020年頃には新産業資本国家(ニューモダン消費経済国家)に脱皮しつつあります**(六車流：流通とマーケティング理論)。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六車秀之